



# 4月から新介護制度 市民への補助金は公平に

吉川 三津子 議員

## 見直し、住民の活動を広げていく 健康福祉部長



▲NPOによる介護予防サロンの風景

現在、健康な高齢者向けのサロン運営団体に、年間880万円(約4万円/回)の公費を投入しているが、要支援者が利用するサロンには、5千円/回の補助金しか予定されていない。不公平では。

**健康福祉部長**

住民全体の要支援者への支援活動は重要と考えており、現行のサロンの見直しも含め、住民による活動の場

を広げていく。住民ボランティアによる訪問介護も始まる。年間5万円の補助金が予定されているが、電話、保険、印刷代もでない金額だ。安全を確保できる金額を設定すべきでは。

**健康福祉部長**

安全は重要な。金額は、協議会の判断にゆだね、担い手が不安を感じないように丁寧に説明をしていく。

### 学校の統廃合は

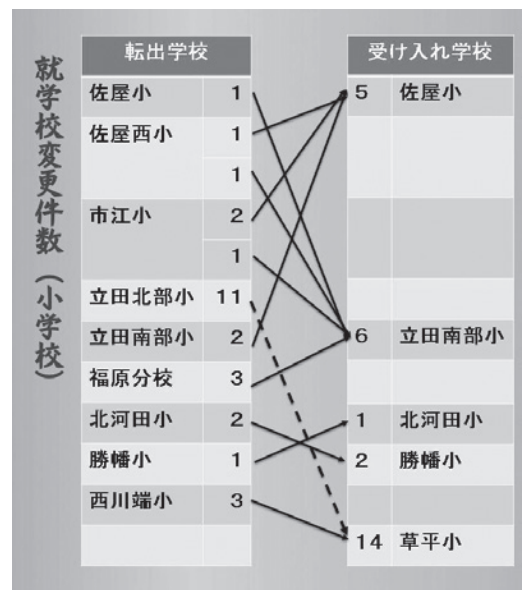
協議会からの提案は、立田地区、八開地区のみに限ったもので①立田・八開の全小中学校を統合し、施設一体型小中一貫校。②小学校は立田・八開で各1校。中学校は統合して1校。③立田・八開それぞれ小学校1校、中学校1校。以上の3案だ。今後の進め方は。

**教育部長** 教育委員会で慎重に検討し、計画を煮詰めている。

右表のように、距離の問題で立田北部小学校区

から草平小に通学する児童は、11人。立田中から佐織西中も多い。こうした境界付近の現状や、部活動も減少している現状も踏まえ、希望する学校が選択できるような検討をすべきでは。

**教育部長** 学校の歴史的な経緯を考慮し、3案について検討している。行きたい学校、入ってよかったと言われる学校をつくっていく。



▲校区外の小学校に通う児童数